



た国は日本だけで、投下された場所は広島と長崎の二ヶ所だ。第二次世界大戦の終盤、アメリカから広島長崎にそれぞれ一発ずつ落とされた原子爆弾により、多くの人々が亡くなった。これをきっかけに日本は敗戦し、戦争は終わって今日の本ができた。そんな核による被害を受けた日本は現在、皮肉にもアメリカの核によって守られている。もし日本の他の国で戦争が起きたら日本は相手の国に向けては攻撃しないが、アメリカがかわりにその国を攻撃するということになっている。もちろん、戦争は起さないほうがいいが、日本の周りにはロシアや中国といった核兵器を持っている国がある。このことから、中国ロシアの二国と、アメリカが日本を挟むようににらみ合い、さらに近くの北朝鮮は、ミサイルを撃つたり、核兵器をちらつかせたりして威嚇している。この状況がずっと続いてしまえば、核兵器の数が廃棄によって減るのではなく、撃たれる

ことによつて減つてしまふ時が来てしまふか  
もしれない。  
もう二度と核兵器が使われることが無い世  
界にするために自分達ができるのは核兵器や  
戦争の恐ろしさと悲惨さを伝えることだと思  
う。そのために、なぜ戦争が起きてしまふの  
かや、なぜ核兵器が作られてしまふのかを考  
え、昔、戦争をしていた日本や世界を知る。  
この、知つて、考えて、伝えるということを  
各国の首相、大統領といった代表者たちに話  
し合いの時にしてほしいと思つている。お互  
いがお互いを非難し合つていただけでは問題  
は解決しないし、むしろ悪化してしまふ。そ  
うならないようにするため、特に核や戦争に  
ついでの話し合いは日本が先頭となつて進め  
ないといけなと思つている。核兵器による  
被害を受けたただ一つの国として周りの国々  
を気にせず、核兵器と戦争の反対を訴えてほ  
しい。そうすれば日本を核兵器が使われた最  
初で最後の場所にできると思つている。また

